

シノン近郊、ティゼ村外れに残る、16世紀に岩壁をくり抜いて設けられた原始的な横穴でワイン造りを行う生産者。穴蔵にはステンレスタンクなど現代的醸造設備も皆無、除梗すら全て手作業で行う。当主ジェラル・マリュラはロワールの醸造学校創業後、アンジュ自然派の先駆の一人ジョー・ピトンで研修。その後2004～2013年までロワールの老舗メゾン、シャトー・ド・クーレーヌで働く。その仕事と並行して、自身のドメーヌを2005年に立ち上げた。当初0.45haからスタートした畑は、現在は1950年植樹の古木カベルネ・フランの区画を含む3.2haにまで拡張。亜硫酸無添加での醸造をすることには決めているが、そのワインには、ロワールのカベルネ・フランの格調高さと気品、素朴と野趣がないまぜになり、目覚ましい滋味は感動的。シノンが生んだ偉大な文豪フランソワ・ラブレールがもし口にすれば必ずや絶賛し、巨人ガルガンチュア（ラブレール代表作の主人公）にきつと何本も飲み干させたであろう味わいである。2023VTを最後に引退。

	○VdF - C'est l'bon ch'min セ・ル・ボン・シュマン			備考	シュマン(Ch'min)はフランス語で道の意味。ボン・シュマンは良い道の意味で、シュマンはセバージュのシュナンと音が近い。シュナン・ブランの"良い道"はこうだ、という想いで造ったワイン。
	畑	品種：シュナン・ブラン 植樹：2014年 位置：標高60m、南東 土壌：粘土石灰質	醸造		
	○VdF - Ange アンジュ			備考	妻、子供たち、そして自分の名前の頭文字を取って名付けた
	畑	品種：シュナン・ブラン 植樹：1989年、1915～1935年 位置：標高60m、北西、南東 土壌：粘土石灰質、粘土・シレックス	醸造		
	●VdF - Rosé ロゼ			備考	
	畑	品種：カベルネ・フラン100% 植樹：2001年 位置：標高50m、南東 土壌：粘土石灰質	醸造		
	●VdF - Allegro アレグロ			備考	買いブドウで醸造。 キュヴェ名の由来： 第一にAllegroはgrolleauのほぼ完璧な頭文字で、「U」だけが欠けている。第二に、音楽では軽快でしなやかな演奏を意味し、第三に喜びを意味する。このワインはおそらく喜びを呼び起こすだろうと考えて名付けた。
	畑	品種：グロロ・ノワール 植樹：1991年 位置：標高50m 土壌：粘土石灰質	醸造		
	●VdF - Que Votre Joie Demeure ク・ヴォートル・ジョワ・ドウミュール			備考	キュヴェ名は大切な人へのオマージュ。樽を使わない醸造で、フルーティーな仕上がり。
	畑	品種：カベルネ・フラン 植樹：1950年 位置：標高70m、南向き 土壌：黄土	醸造		
	●VdF - Bacconelle バッコネル			備考	この畑のある区画の、昔からの呼び名をキュヴェ名として付けた。
	畑	品種：カベルネ・フラン 植樹：1989年～2002年 位置：標高80m、南向き 土壌：砂質	醸造		

	●VdF - Les Gruches レ・グリュッシュ			備考	キュヴェ名は畑の区画に由来。
	畑	品種：カベルネ・フラン 植樹：1989年 位置：標高70m、南向き 土壌：フリント(火打石) 粘土	醸造		
	●VdF - J'ai vu Rouge ジェ・ヴュ・ルージュ			備考	2017年は、遅霜に乾燥のせいで収量がなかったため、南仏からの買いブドウで醸造。ジェラルール自ら収穫をして、現地で醸造を行った。暑い地域ではあるが、標高の高い畑で抽出も強すぎず、華やかな果実味。
	畑	品種：メルロ 植樹：1987年 位置：標高400m、南向き 土壌：粘土石灰質	醸造		